# 演習Ⅰ

**担当者** 明石　芳彦

**開講時期** 通年　　**単　位** 4

**●講義の概要**

研究のあり方と研究の進め方を概説した上で、各自が関心を持つ研究テーマをめぐり具体的論点を１つ１つ話し合う。

その過程において、学習等が必要となる事項や課題解決方法について逐次、概説する。

**●講義の到達目標**

研究テーマに関する先行研究の見つけ方、読み方、論点整理の仕方、自分の見解を提示する方法、論証の仕方など、修士論文作成に必要となる基本的研究事項を修得する。それと同時に、自分の研究テーマを具体的に示し、論文の形にしていくことなど、修士論文を作成するための基礎的な研究能力を修得する。

**●講義計画**

前期は、初めに、研究の方法に関する概説を行う。次に、各自が研究テーマを絞り込み、テーマを特定できるまで討論時間を十分にもつ。各自が研究テーマを特定できた後は、関連する先行研究のレビューを通じて、研究テーマに関する論点を明確化できるように指導する。また、研究テーマが実態分析を必要とする場合には、実態分析の仕方を概説するとともに、各自が入手した文献や資料・データを整理していく方法を指導する。

後期は、前期における研究進捗状況をみて、研究テーマの再確認、研究課題（リサーチ・クエスチョン）の明確化、何を明らかにできれば研究目的に近づくかを一緒に考える。その後、研究の方向性を明確にしつつ、先行研究レビューや実態把握を継続する。期末には、研究内容を小論文にまとめるよう指導する。

**●成績評価基準と方法**

・平常点として報告や討論について50％、期末の小論文について50％として成績評価する。
・研究関心や問題意識を適切に提示し、研究上の論点を絞り込むことができている。
・研究に必要な調査方法や分析手法を理解し、ある程度、修得している。
・研究テーマを的確に把握し、検討すべき事項を理論的・概念的・実証的に分析し、研究内容を論理的に展開する能力を向上させている。

**●テキスト又は参考文献**

使用しない。必要に応じて、参考文献を指示し、資料を配布する。

**●受講上の留意点**

研究を行うのは学生自身であることを理解し、自ら積極的に調べ、分析し、考え、まとめていくこと。

何を明らかにしたいかを常に自問自答すること。

（修士論文の作成をライフワークと勘違いしないこと。）